

6. 情報発信（広報・広告など）

図書館はこれまで、地域の情報センターとしての役割を担うとともに、市民サービスの向上と地域社会の活性化を図るため、紙媒体やICTツールを活用し、時には商業媒体の協力を得ながら、広報活動・広告事業に努めてきた。

25年度は広報広聴を担う分析・PRチームをあらたに立上げ、中長期の広報活動方針策定の準備をすすめ、広報活動の有効性を高めるための研究を行った。

コンピュータシステム入替えを機に、Webサイトの大幅リニューアルを行った。

メールマガジンは、67回配信し、登録者総数も1,669件に増えた。Webサイトから検索条件を自由に設定できる新着図書メール配信を開始。従来の新着図書案内に加えて、利用者個々のニーズに沿った新着情報を取得できる環境を整えた。

ブックプラネット事業や北摂アーカイブスが全国的にも関心を集めている。また、市民との協働や、地域に根ざす図書館サービスについて地域ラジオ局や出版物で取り上げられ、関心が高まっている。今後も情報提供に努め、地域のメディアとも連携を深めていくと同時に、各地の先進的な事例や取組みについても、意識して収集しサービス向上に反映していく。

豊中市の新たな財源を確保し、市民サービスの向上及び地域経済の活性化を図ることを目的とした広告事業については、Webサイトへのバナー広告掲載が4社となった。さらに、利用者用蔵書検索端末等で使用するレシートへの広告掲載は、民間事業者や庁内各課から依頼があり、掲載期間に応じた量の専用ロール紙の提供を受けた。

今後は、Webサイトやメールマガジンにとどまらず、図書館外部の広報媒体にも積極的に働きかける。また、「図書館サービスを利用してよかった」という口コミが利用の拡大につながるよう、接遇マナーの向上をはかるなどあらゆる場面で広報を意識して取り組んでいく。一方、広報とともに広聴活動においても、市民の声を積極的に集め、業務改善をすすめることで図書館サービスの充実につなげていく。

メディアでの紹介

日付	メディア	種類	タイトル・内容等
2013/9	阪急宝塚線・能勢電鉄 街と駅の1世	図書	情報提供
2013/9/25	朝日新聞	新聞	おおさか昭和旅行 万博象の行進と北摂アーカイブス
2013/10/2	日本経済新聞	新聞	図書館新時代② 北摂アーカイブス事例紹介
2013/10/25	山形新聞	新聞b	図書館サービスのこれからを考える 北摂アーカイブス事例紹介
2013/11	カメラが撮らえた大阪の昭和	図書	編集協力として岡町図書館
2013秋	*西日本高速道路株式会社	その他	名神高速道路50周年記念写真パネル展(庄内公民館)に情報提供
2014/1	FM千里とCATV	CATV	子育て座談会
2013/9月号	学校図書館	雑誌	児童文学の今「豊中市の公共図書館における児童文学の現状」職員寄稿
2013/9	Bookstart Newsletter No.42	その他	職員(永島さん)の選考にかける思い
2013/5/28	FM千里 放送局日記	web	服部図書館の紹介
2013/6/4	FM千里 放送局日記	web	野畑図書館「ヒメポタルガと学習会と観察会」紹介
2013/6/26	FM千里 放送局日記	web	庄内図書館「作って、送って、飾って、絵封筒展」紹介
2013/6/27	FM千里 放送局日記	web	野畑図書館「なぜ、子供の物語は必要なのか？(ひこ・田中講演会)」紹介
2013/7/4	FM千里 放送局日記	web	千里図書館「作って、送って、飾って、絵封筒展」紹介
2013/10/29	FM千里 放送局日記	web	庄内図書館の紹介
2013/11/19	FM千里 放送局日記	web	野畑図書館の紹介
2013/11/19	FM千里	ラジオ	野畑図書館の紹介
2013/12/19	FM千里 放送局日記	web	蜜池図書館の紹介
2014/1/8	FM千里 放送局日記	web	野畑図書館の紹介
2014/3/6	FM千里 放送局日記	web	「ふれあい発見アジアの国々」アジア関連図書展示の紹介
2014/3/25	FM千里 放送局日記	web	千里図書館の紹介
2013/6/13	マチゴト豊中・池田 vol.52	ミニコミ誌	庄内図書館「おはなしランド」の紹介
2013/9/12	マチゴト豊中・池田 vol.55	ミニコミ誌	千里図書館「おはなしとんとん」の紹介
2014/2/25	FM千里 放送局日記	web	庄内図書館「えほんのキャラクターにへ～んしん！」紹介
2014/3/10	FM千里 放送局日記	web	千里親子ふれあい広場の紹介
2013/7/16	FM千里 放送局日記	web	動く図書館の紹介
2014/3/6	カレントアウェアネス・ポータル	web	第10回レファレンス協同データベース事業フォーラム報告 職員事例発表
2013/4/18	日本経済新聞	新聞	学校読書活動支援システム 授業活用例を共有
2013/4/18	日刊工業新聞	新聞b	学校の図書情報一元化 大阪・豊中にシステム
2013/4/18	電波新聞	新聞c	FJMが読書活動支援システム 豊中市(大阪)小中学校59校で運用
2013/5/3	産経新聞	新聞	読書活動日本一めざそう 豊中市、全小中学校に図書館支援システム
2013/8/8	マチゴト豊中・池田 vol.54	ミニコミ誌	豊中の小中学生が「図書館の達人」大会
2013/12/12	マチゴト豊中・池田 vol.58	ミニコミ誌	疑問を聞く⑩ 読書日本1とは？
2013//	富士通チラシ	その他	大阪府豊中市 読書活動支援システム導入事例 市内59校の全小中学校と公立図書館を連携し、「とよなかブックプラネット事業」を強力に推進
2013/5/11-2	かたらいプラザ	CATV	ブックプラネット事業特集
2013/5/6-13	日本教育新聞	新聞c	「読書活動日本一」の実現へ 「とよなか読書活動支援システム」を構築
2014/3	『NPOと行政の協働 豊中の実践』	図書	図書館の活性化でまちづくり・文庫活動の蓄積生かしたブックスタート
2013春	ライブラリーソースガイド 第3号	雑誌	特集 図書館における資金調達

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

〈子育てに絵本の楽しさを〉

- ・「出前絵本講座」「出前おはなし会」

地域の子育てサークルや子育て支援センター、妊婦教室、千里おやこふれあい広場、高校生の家庭科保育の授業などに出向いて子育てとともに楽しむ絵本の紹介やよみきかせ。

市内 49 ヶ所 74 回 参加者 3,026 人

〈小学生への図書館活用指導、おはなし会〉

- ・「放課後子どもクラブ」「人権まちづくりセンターへの出前おはなし会」

子どもたちの身近な場所に出向いてのおはなし会。

- ・「学校訪問」「自由研究おたすけDAY」

子どもたちに図書館に親んでもらうとともに、調べ学習に役立つ情報の提供を行う。

市内 4 ヶ所 18 回 参加者 478 人

〈子どもを取りまく大人への支援〉

- ・「子どもと本をつなぐ絵本講座」「ボランティアバックアップ講座」「絵本講座」

子どもと本をつなぐボランティアの支援・育成、幼稚園教諭・保育士を対象にした読み聞かせ講座。

市内 7 ヶ所 13 回 参加者 348 人

- ・「新任高校教諭の職業体験」「校内研修」など

教諭や学校図書館司書への図書館の活用やブックプラネットについての研修。

市内 9 ヶ所 11 回 参加者 216 人

〈大人も楽しむ本の世界〉

- ・「大人のための絵本カフェ」「コラボ大学」

市民主催の講座でテーマにそった本の紹介をしました。

12 回 参加者 684 人

〈暮らしに役立つ図書館〉

- ・「健康カレッジ」「産業フェア」

地域保健課や地域経済課など市他部局主催の事業への参加および図書館 PR・資料の貸出

9 回 参加者 409 人

※産業フェアの参加人数は含まず

〈豊中から全国各地へ〉

他市、他県の図書館や図書館関連団体で開催された講演会や講座に、講師として参加しました。

- ・レファレンス共同データベース事業フォーラム

レファ協活用と地域の魅力再発見について

於：国立国会図書館関西館

- ・近畿公共図書館協議会研究集会（兼児童部門研究集会）

図書館サービスのこれから～情報と交流の拠点をめざして～ 於：和歌山県立図書館

・平成 25 年度全国公共図書館研究集会

北摂アーカイブスについて 於：村山市総合文化複合施設 甕葉プラザ

・図書館職員スキルアップ研修

豊中における学校図書館支援サービスについて 於：大阪府立中之島図書館

・図書館職員等研修講座（基本研修）

『とよなかブックプラネット事業』がめざす連携 於：岡山県立図書館

・公共図書館システム研修会

「とよなかブックプラネット事業」の取組み 於：富士通関西システムラボラトリ

〈全国各地から豊中の図書館へ〉

視察（とよなかブックプラネット事業、公共図書館運営）

東大阪市・吹田市・交野市・島本町・神戸市・奈良市・和歌山市・岐阜市・一宮市・田原市・北海道岩見沢市・サンマテオ市など 全国から 12 か所以上

8. 図書館協議会

平成 25 年度は 6 回（4・5・6・10・11・1 月）開催された。運営のあり方と施設配置のあり方に関わる二つの答申、「指定管理者制度（部分委託のあり方を含む）の導入について」と「豊中市立図書館の今後の戦略的な施設配置について ― 特色ある図書館づくりや地域の知の拠点としての施設のありようなどをふまえて」を受けた。

平成 25 年度の委員一覧

名 前	団体名・役職等
舟 岡 直 子	小学校長代表
大 野 俊 介	中学校長代表
森 山 みさと	幼稚園長代表
橘 高 美那子	婦人団体連絡協議会
松 田 美和子	豊中子ども文庫連絡会
鵜 川 ま き	豊中図書館の未来を考える会
◎ 岸 本 岳 文	学識経験者
○ 渥 美 公 秀	学識経験者
村 上 泰 子	学識経験者
杉 浦 公 男	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代行者

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有を図る仕組みとして平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検・自己評価を実施してきた。

図書館協議会による「豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」（25 年 5 月）において目標の妥当性や達成状況の評価とともに、「地域における図書館の役割をしっかりと見据えたうえで、優先順位を明確にし、スピード感とコスト意識をもって取り組むことが肝要である」との指摘を受けた。

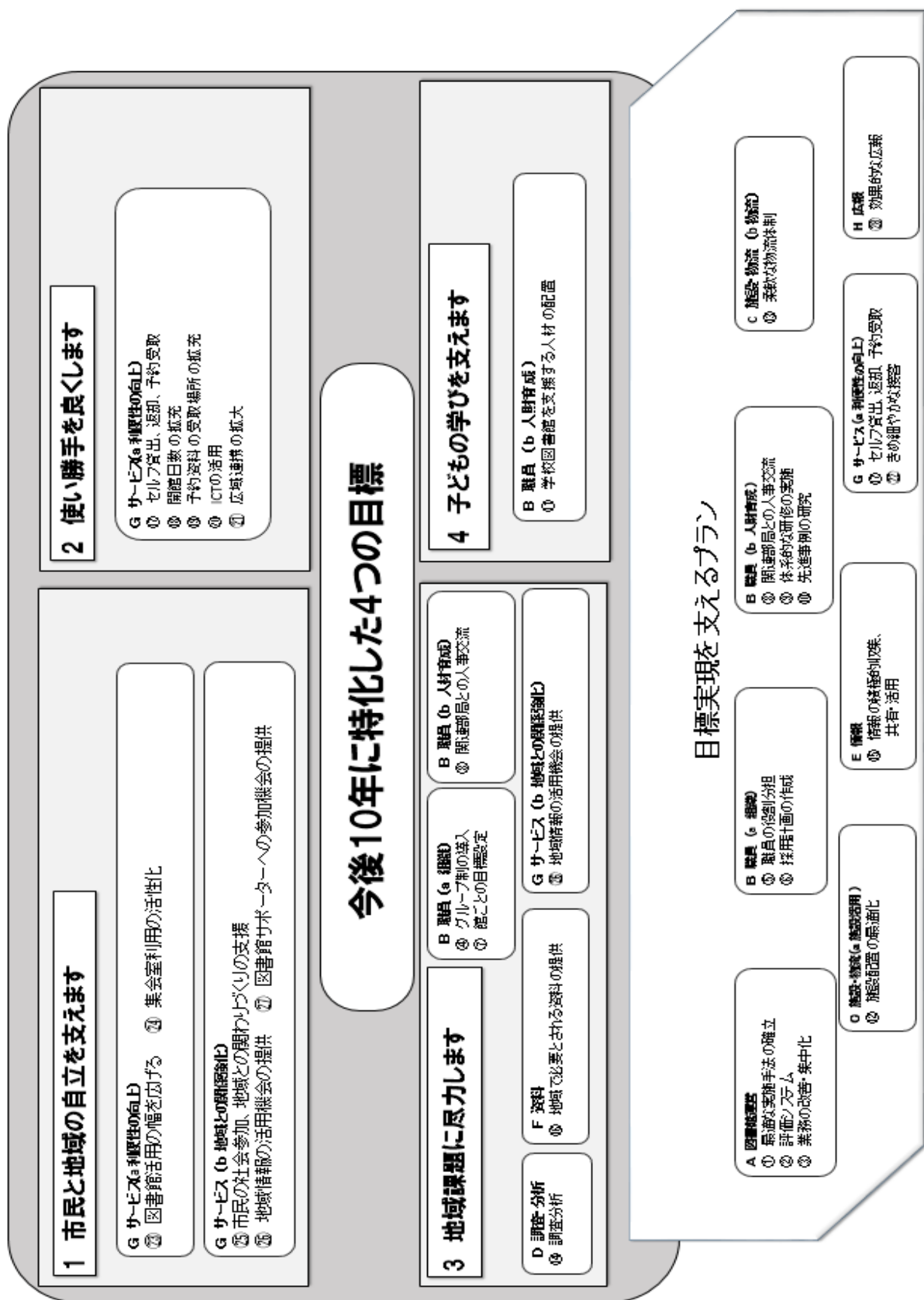
図書館はこれまで「評価システム」に基づき、図書館事業全般について、業務の改善を行ってきた。自己点検評価・外部評価のサイクルを 2 回実施するなかで、豊中の図書館としての課題や今後取り組むべき方向性を見出すことができた。

「豊中市立図書館の中長期計画」（以下、グランドデザイン）の策定を機に、今後は毎年度の図書館事業の進行管理を、「評価システム」から「グランドデザイン」に移行することとした。評価については、「豊中市の図書館活動」の統計編に簡略化した形で組み込み、「評価システム」による自己点検評価は、次回の外部評価の際に実施する方向を検討していく。

10. グランドデザインの進捗状況

＜グランドデザイン4つの目標と28のプラン 概念図＞

「豊中市立図書館グランドデザイン」とは、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するため、平成26年3月に策定されたものです。(P.〇参照)



グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成25年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35(2023)年までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0～4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。
- ・28のプランを関連する4つの目標(1～4)と目標実現を支える取組(0)ごとに分類します。
- ・28のプランの優先順位の高い取組みを抽出し、事業ごとの取組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。
- ・優先順位の高い取組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎:十分達成できた ○:おおむね達成できた △:一部達成 ー:未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。 該当プラン ⑳・㉑・㉒・㉓・㉔	
優先的な取組プランと事例	達成状況
【優先的な取組プラン:㉑】 【事例】 未実施	課題、平成26年度に向けての取組み 【課題】 ・サポーター受入れのための研修の整備など、他市の事例も含めて情報収集する必要があります。:㉑ ー 【平成26年度に向けての取組み】 ・サポーター制度の研究、検討を行います。:㉑
2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。 該当プラン ⑰・⑱・㉒・㉓・㉔	
優先的な取組プランと事例	達成状況
【優先的な取組プラン:⑰】 【事例】 他市の図書館での自動貸出機、自動返却機などの導入事例について研究を行いました。	○ 課題、平成26年度に向けての取組み 【課題】 ・他自治体と比較しても予約件数・貸出件数が多く、スムーズに導入できるよう、きめ細やかな配慮が必要となります。⑰ ・ICタグ導入で省力化した部分を業務の効率化につなげる必要があります。⑱
【優先的な取組プラン:⑱】 【事例】 ICタグ導入により、蔵書点検期間の短縮が一定期間可能となりました。	△ 自動貸出機など、ICTを活用したサービスを導入する際には、利用方法のレクチャーなど、利用者の利便性向上につながる取組みの研究が必要です。㉑
【優先的な取組プラン:㉑】 【事例】 全館でICタグでの運用開始; 26年3月のシステムリプレイス時に全館でICタグを活用したシステムに切り替えました。これにより、貸出・返却のスピードアップや、蔵書点検期間の短縮が見込まれます。またBD Sゲートの設置により、亡失資料の減少への条件が整うとともに、来館者数のカウントが可能となり、実利用者数の把握につながりました。 メールサービスの充実; 予約確保メールと督促メールに加えて、希望者への返却期限通知メールや、希望の分野や著者の新着お知らせメールのサービスを開始しました。	◎ ⑰ 【平成26年度に向けての取組み】 ・26年度中に自動貸出機を一部の館に導入予定。また千里図書館には予約の受け取り、貸出を行う予約図書受渡システム(e-棚)の導入検討をすすめます。⑰ ・26年4月より分館において土日と重なる祝日の開館を開始しました。⑱ ・ICTの技術を積極的に活用し、地域の情報センターの機能に加え、そこに集う人々が学びあう地域のラーニングコモンズへの進化を目指します。そのための手段として、電子書籍導入の検討や、公衆無線LAN(26年7月稼働)活用の周知に努めます。㉑

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳	
優先的な取組プラン、事例	課題、平成26年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑦】</p> <p>【事例】</p> <p>地域館・分館・分室・図書室のそれぞれについて、施設の規模や状態、地域性を踏まえ、中長期的な展望を持って、それぞれの地域の課題に寄り添うあり方、目標の検討をすすめています。平成25年度・26年度にかけて豊中市市有施設有効活用に関する検討においては、分館のあり方が議論となっています。</p>	<p>△</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)南部コラボセンター構想の動向などを視野に入れ、常に多様化し、変化する地域課題の実態の把握および利用の分析、過去の事業の効果確認をしながら、最適な目標を設定する必要があります。⑦ ・他部局の事務職員に図書館での仕事内容をより具体的に知らせ、図書館業務の経験がスキルアップにつながることの周知が必要です。⑧ <p>【平成26年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館共通の基本的なサービスを基礎として、その上にそれぞれの地域や住民の特性に応じ、特色ある図書館サービスを行っていきます。地域のニーズや利用状況の分析結果を踏まえて、各館ごとに、施設のあり方の方向性を反映した目標を設定します。(27年度予定)⑦ ・26年度より短時間勤務職員と学校司書および常勤職員と他部局の事務職員(司書資格保持者)の人事交流を開始します。⑧
<p>【優先的取組プラン:⑧】</p> <p>【事例】</p> <p>人事交流へのステップとして、交流研修を実施しました。公共図書館における実習では、学校図書館専任職員が日頃体験することが少ない、レファレンスやデータベース検索などを盛り込んだプログラムとしました。</p>	<p>◎</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)南部コラボセンター構想の動向などを視野に入れ、常に多様化し、変化する地域課題の実態の把握および利用の分析、過去の事業の効果確認をしながら、最適な目標を設定する必要があります。⑦ ・他部局の事務職員に図書館での仕事内容をより具体的に知らせ、図書館業務の経験がスキルアップにつながることの周知が必要です。⑧ <p>【平成26年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館共通の基本的なサービスを基礎として、その上にそれぞれの地域や住民の特性に応じ、特色ある図書館サービスを行っていきます。地域のニーズや利用状況の分析結果を踏まえて、各館ごとに、施設のあり方の方向性を反映した目標を設定します。(27年度予定)⑦ ・26年度より短時間勤務職員と学校司書および常勤職員と他部局の事務職員(司書資格保持者)の人事交流を開始します。⑧
4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪	
優先的な取組プランと事例	課題、平成26年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑪】</p> <p>【事例】</p> <p>学校図書館支援システムの導入を平成25年に完了し、学校図書館を活用するための基盤整備は一定整いました。25年度は、学校図書館システムに学校図書館専任職員が習熟するためシステム研修を実施し、読書振興課職員(公共図書館司書2名と指導主事1名)が各学校を訪問し、フォローに努めました。</p>	<p>◎</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業活用データベース等の機能を教職員に周知し、学校図書館の活用をさらに進めることが課題です。⑪ <p>【平成26年度に向けての取り組み】</p> <p>導入したシステムの活用と効果検証を進めます。学校図書館のさらなる活用にあたっては、教職員の理解を深めることを優先課題と考え、26年度は各校内での研修に取組んでいきます。⑪</p>

0. 1から4の目標実現を支えます。 該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑲・⑳	
優先的な取組プランと事例	課題、平成26年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:①】 【事例】 図書館協議会に施設配置についても諮問を行い、市民の学びを保障する使命の実現にかなう配置を行うべきとの主旨の答申を26年3月に受けました。</p>	<p>【課題】 ・市の特定事業の見直しにおいて、分館のあり方が継続して検討課題になっています。①</p> <p>・岡町以外の地域館、分館に残る管理部門の仕事の調整が必要です。③</p>
<p>【優先的な取組プラン:③】 【事例】 業務の分析および集中管理に向けて、研究、検討を行いました。</p>	<p>・常勤職員が減少する中で、さらなる効率的、効果的な人員配置が求められています。⑤</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑤】 【事例】 フロアマネージャーの配置； 26年度より館内のサービスに責任を負う常勤職員を配置するよう検討を行いました。フロアマネージャーは多様な雇用形態の集団が専門職としてその能力を発揮できるようマネジメントを担当します。そのため業務上の役割分担を明確化するよう、館長会議および副館長施設長会議等で検討をすすめます。</p>	<p>・他部局の事務職員に図書館での仕事内容をより具体的に知らせ、図書館業務の経験がスキルアップにつながることの周知が必要です。⑧</p> <p>・多様な雇用形態による職員構成に合わせて、豊中市立図書館内部で行う研修を充実させていく必要があります。⑨</p> <p>・(仮称)南部コラボセンター基本構想をふまえ、南部の拠点となる図書館でのソフト、ハード面でのサービス内容の検討をすすめる必要があります。また、分館のあり方が継続して検討課題になっています。(①参照)⑫</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑧】 【事例】 人事交流へのステップとして、交流研修を実施しました。公共図書館における実習では、学校図書館専任職員が日頃体験することが少ない、レファレンスやデータベース検索などを盛り込んだプログラムとしました。</p>	<p>・他自治体と比較しても予約件数・貸出件数が多く、スムーズに導入できるよう、きめ細やかな配慮が必要となります。⑰</p> <p>・ICTタグの導入による貸出返却作業の軽減に伴い、積極的にフロアワークなどに業務を振り分けていく必要があります。⑳</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑨】 【事例】 各種政策課題に関する研修を図書館職員が積極的に受講するよう調整を行い、研修内容や報告を図書館内の情報共有システムで共有しています。このことで、一人が受講した研修でも図書館職員全体に学びをシェアすることが可能になっています。 また、図書館司書専門講座・児童図書館員養成講座・中堅職員ステップアップ研修等に、各年度いずれかの一講座受講できるように取り組んでいます。平成25年度は、図書館司書専門講座を1名が受講し、研修での学びを業務改善にフィードバックするよう努め、危機管理研修の実施やビジネス支援関連講座の開催などにつなげました</p>	<p>【平成26年度に向けての取り組み】 ・グランドデザインの進行管理をすすめながら、地域のニーズに応じた図書館の在り方を検討し、業務の見直しをすすめていきます。また26年度中に分館のあり方について方向性を明確にします。①</p> <p>・26年度に岡町図書館への事務の集中化を実施。読書振興課と岡町管理との連携によりさらなる業務の効率化をめざします。③</p> <p>・26年度に各館のカウンターにサービスの責任者としてフロアマネージャーを配置、ICTタグによる貸出返却で業務の効率化をはかります。また一部の館で自動貸出機を導入することにより、レファレンスなど専門性が要求される部門に効果的な人員配置を行います。⑤</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑫】 【事例】 「特定事業の見直し」の作業工程の中で、地域性を踏まえたうえで、分館などの配置やその役割を見直し、館ごとの独自性づくりを進める方向で取り組むことになりました。</p>	<p>・26年度より短時間勤務職員と学校司書および常勤職員と他部局の事務職員の人事交流を開始します。⑧</p> <p>・今後も多様な雇用形態で役割分担をすすめていくため、図書館内部で企画・実施する研修の種類・構成を体系的に組み立て、キャリア形成の一環となるよう位置付けていきます。⑨</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑰】 【事例】 他市の図書館での自動貸出機、自動返却機の導入事例について研究を行いました。</p>	<p>・事務の集中化やICTを活用したサービスをすすめ、より効率的、効果的な人員および施設配置を検討します。またサービスの公平性を保証するため、動く図書館の活用引き続き取り組みます。⑳</p>
<p>【優先的な取組プラン:⑲】 【事例】 「なんでもきいてください」「お探しの資料はみつかりましたか」等、利用者が質問しやすい想定の手紙を書いたワッペンを着用しています。主に若い職員や臨時職員、非常勤職員を対象とした接遇研修を行いました。ICTタグの本格的導入を目前に、仕事の見直しを行いました。</p>	<p>・26年度中に自動貸出機を一部の館に導入予定。また千里図書館には予約の受け取り、貸出を行う予約図書受渡システム(e-棚)の導入検討をすすめます。⑰</p> <p>・業務の効率化をすすめ、さらにフロアワークの充実に取り組みます。また臨時職員を含め、全職員を対象に接遇研修を実施します。⑳</p>

11. とよなかブックプラネット事業

「とよなかブックプラネット事業」においては、平成 25 年 4 月より学校図書館の蔵書管理システム、情報共有、授業活用データベースからなる「とよなか読書活動支援システム」を稼働させ、「学校図書館支援ライブラリー」（庄内幸町図書館 2 階）の整備を進めることにより、「人」「物流」「情報」の 3 つの側面からの学校図書館の機能向上を進め、多様な読書活動の一層の普及・定着を図る取組みを行った。



今年度は特に、学校図書館の資料を活用した授業で児童・生徒が制作した作品を市立図書館で展示し、地域の人に見ていただける機会が増えた。

また昨年度に引き続き、夏休み中に休館日の市立図書館で児童・生徒が調べ学習を体験する「知的探究合戦『めざせ！図書館の達人』」、「子ども読書活動フォーラム」（児童文学作家によるトークライブと小中学校長、市立図書館長、教育監によるビブリオバトル）を開催した。

本年度末のとよなかブックプラネット事業推進委員会において、事業が計画通りに進捗し、学校図書館のいっそうの活用をはかり読書活動日本一をめざすための環境整備が一定整ったことを確認した。今後は、整備した読書環境を効果的に利活用した取組みを引き続き推進し、その進行状況と効果確認を継続して行っていく。



市立図書館での作品展示の様子



平成 25 年度子ども読書活動フォーラムの様子